



本社工場内の様子

- 本社所在地：静岡県焼津市坂本355番地
- 事業概要：食品および製薬産業向けの生産設備・省力化装置の開発、設計、製作およびメンテナンス
- 常時使用する従業員：42名
(2025年5月時点)
- 現在の売上高：10億円
(2025年4月期)
- 法人番号：4080001014649
- Web：<https://www.ishida-tec.co.jp/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
石田 尚

“秘密兵器”で現場の明日を支える

私たちは、生産現場に他にはない独創的な技術、独自の仕様という“秘密兵器”を提供し、現場の課題解決を通じてお客様・産業・社会の持続的成長に貢献します。長年培ってきた信頼と時代と現場に最適な技術力で、お客様・地域社会にとってなくてはならない存在になることを目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2034年の売上高達成に向け、年率平均28.8%程度の成長を目指す。自社プロダクト製造モデルへの構造転換を果たす。



課題

- ・現状の受注設計生産（ジョブショップ型）に最適化されており、新たに展開する自社プロダクトの繰返し生産に対応できず事業拡大のボトルネック
- ・エッジAIを開発するためのハードウェアとソフトウェア環境

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・自社プロダクトにウェイトを置く事業構造の転換
- ・繰返し生産に最適化された、高効率な生産拠点の開設
- ・ソフトウェア・データで収益を強化する体制を構築
- ・米国および東南アジアへの事業展開

実施体制

- ・社長直下の部署によるプロダクトマネジメントの強化
- ・事業成長に沿った人材採用を強化
- ・ミドルマネージャの長期育成
- ・販売/エンジニアリングパートナーシップの締結

売上高100億円実現の目標と課題

社会的背景	・政策課題：水産庁は①資源の増大 ②生産性・所得向上 ③担い手維持を最重要課題と明示。（水産庁 2019） ・現状：漁業就業者は2022年に12.3万人と減少が続き、水産業の構造的な維持、熟練目利きの継承に逆風。 ・市場動向：マグロ類需要は過去20年で約25%増。品質要求は世界的に高まるも、人手では対応不能。 ・初回ターゲット顧客：水産商社、水産加工会社、漁協 ・顧客の経営課題：商品付加価値を向上したいが、人手不足・技術継承の困難さから構造的にほとんど不可能。
当社が提供する解決策	世界初の非破壊・接触型AI品質測定機を量産し、「目利き」を機械で標準化 ・コア技術：AI（波形分析・画像認識）・超音波装置をモジュール化。冷凍マグロ類を皮切りに農畜産・化成品へ横展開。 ・社会的効果：高精度検査、商品を高付加価値化。検査工程の省人化・安全化。技能継承のデジタル化で地域雇用を下支え。

売上高

